

セラミド Ceramide

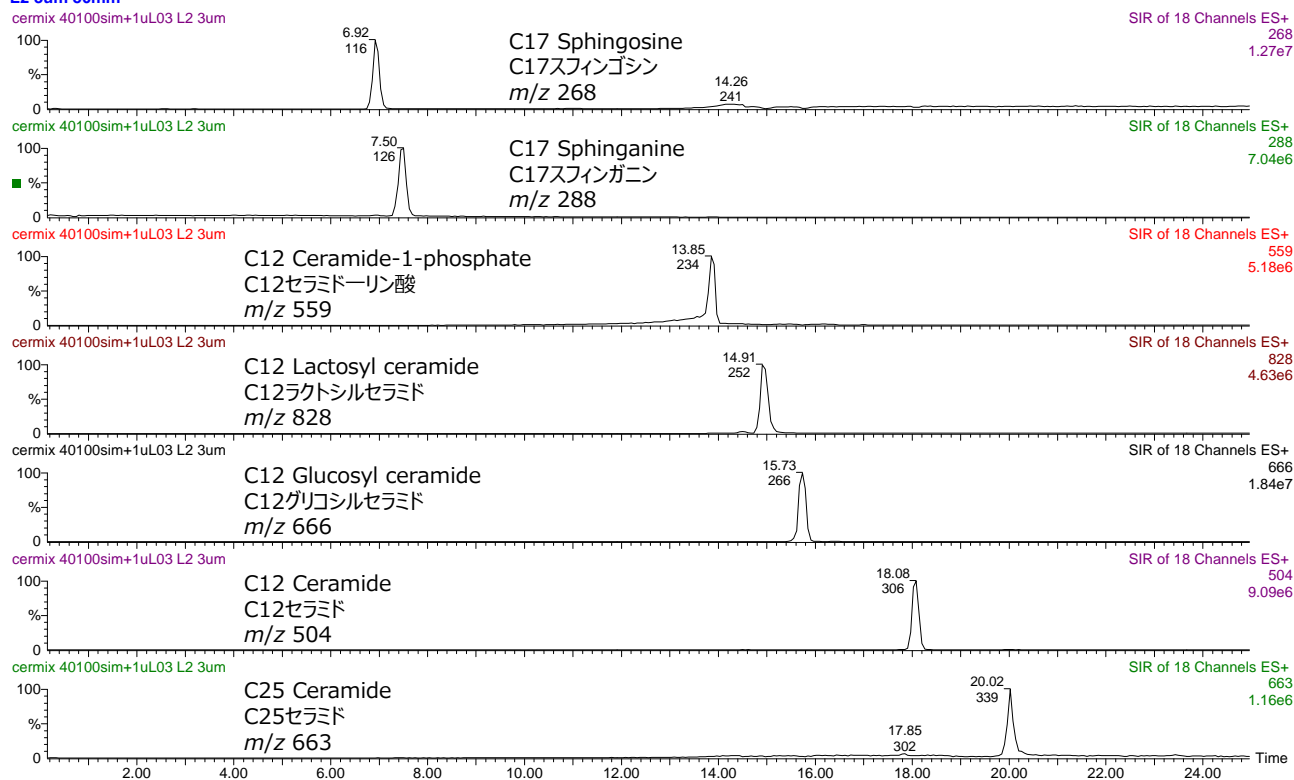
セラミドは人の角質に多く存在し、肌の乾燥や細菌から守る役割があります。そのため、化粧品や食品などに広く使用されています。アトピー性皮膚炎の原因や細胞のシグナル伝達物質としても知られており、その構造はスフィンゴシンと脂肪酸がアミド結合したものです。ここでは、10 mMのセラミド類(スフィンゴシン、スフィンガニン、セラミドのリン酸付加体、糖付加体、セラミド)をLC/MSにより分析しました。溶離液にはギ酸とアセトニトリルを用いて、イオン化はESIポジティブモードで検出しました。

Key words : セラミド
Column : USP category: L1

[Analytical conditions]

Column : L-column2 ODS (C18, 3 μ m, 12 nm), 2.1 mm I.D. \times 50 mm L.; Cat. No. 711140
Eluent : A: 0.1% HCOOH in CH₃CN; B: 0.1% HCOOH in H₂O
A/B, 40/60-100/0-100/0 (0-10-25 min)
Flow rate : 0.2 mL/min
Temperature : 40°C
Detection : ESI-MS(+)
Injection volume : 1 μ L, 10 mM each
System : LC: Alliance 2695 system (Waters Co.); MS: ZQ (Waters Co.)

L2 3 μ m 50mm



2008.12